

富山県朝日町

議会だより



第119号
令和5年11月1日



CONTENTS

■令和4年度決算など	2～3
■代表質問 4名	4～9
■一般質問 5名	10～14
■常任委員長報告	15
■議会日誌 7月～9月	16

ヒスイ海岸たら汁まつり

本会議の様子は高画質な ケーブルテレビ・インターネットで！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。
議場システムの更新を行いました。提案理由、質疑、代表・一般質問、
討論、採決の様子は高画質なケーブルテレビ・インターネットからご覧ください。

議会日程のほか、議会のインターネット中継・録画配信も下記URLの町
ホームページからご覧いただけます。

<https://www.town.asahi.toyama.jp/gyosei/index.html>
(トップページ ⇒ 朝日町議会 ⇒ 各ページタイトル)



9月定例会の様様を
YouTubeで配信しています
※次回定例会までご覧いただけます

9月定例会

●令和4年度決算の認定 ●朝日町教育委員1名に同意

令和5年9月朝日町議会定例会は、9月7日から22日までの16日間にわたり開催されました。
令和5年度一般会計補正予算のほか、朝日町教育委員1名の任命に同意しました。

令和4年度決算

1万円未満切捨て

一般会計（支出済額）	総額	93億6,709万円
特別会計（支出済額）	総額	57億2,236万円
・国民健康保険会計		12億3,390万円
・後期高齢者医療事業会計		4億9,188万円
・簡易水道会計		4,674万円
・下水道会計		5億7,250万円
・公共用地先行取得等事業会計		0万円
・奨学資金会計		102万円
・病院事業会計（収益的支出）		33億7,631万円

令和5年度補正予算（主なもの）

1万円未満切捨て

一般会計（第8号）	補正総額	1億7,997万円
諸支出金		
・システム改修費		344万円
・光熱費等高騰対策緊急支援金		714万円
・介護老人保健施設等整備資金		1億5,400万円
・雇用創出奨励金		800万円
・新規漁業就業者支援事業		18万円
・商業等魅力アップ事業		400万円
・北陸プレデスティネーションキャンペーン委託		50万円
・まいぶんKAN改修工事基本・実施設計業務等委託		270万円
特別会計	補正総額	△3,592万円
・国民健康保険特別会計		△2,806万円
・後期高齢者医療事業特別会計		408万円
・簡易水道特別会計		△128万円
・下水道特別会計		△1,066万円

令和5年度専決補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計	補正総額	1億7,997万円
諸支出金		
・こどもの居場所づくり支援モデル事業		367万円
・林道道口線災害復旧工事		3,612万円
特別会計	補正総額	151万円
簡易水道施設補助事業		151万円

令和5年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計	補正総額	844万円
諸支出金		
・町道湯ノ瀬北又線災害復旧工事		844万円

議会で決まったこと

9月定例会審議結果

※議決日は9月22日

議案番号など	件名	審議結果
認定第1号	令和4年度朝日町一般会計歳入歳出決算	認定
認定第2号	令和4年度朝日町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	
認定第3号	令和4年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	
認定第4号	令和4年度朝日町簡易水道特別会計歳入歳出決算	
認定第5号	令和4年度朝日町下水道特別会計歳入歳出決算	
認定第6号	令和4年度朝日町公共用地先行取得等事業別特別会計歳入歳出決算	
認定第7号	令和4年度朝日町奨学資金特別会計歳入歳出決算	
認定第8号	令和4年度朝日町病院事業決算	
議案第67号	令和5年度朝日町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第68号	朝日町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例制定の件	
議案第69号	朝日町印鑑条例一部改正の件	
議案第70号	朝日町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件	
議案第71号	朝日町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正の件	
議案第72号	朝日町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件	承認
議案第73号	財産の無償譲渡の件	
議案第74号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第13号 令和5年度朝日町一般会計補正予算（第5号）	
議案第75号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第14号 令和5年度朝日町一般会計補正予算（第6号）	
議案第76号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第15号 令和5年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第2号）	承認
議案第77号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第16号 令和5年度朝日町一般会計補正予算（第7号）	
議案第78号	令和5年度朝日町一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案第79号	朝日町教育委員会の委員を任命するため同意を求める件	同意

人事案件

- 朝日町教育委員会の委員を任命するため同意を求める件
・朝日町笹川1066番地 勝田 民

各議員の質問の様子は二次元コードから視聴することができます

消防団組織再編 新たな組織体制は



西岡 良則 (未来)

答 5つの分団に再編成と 女性分団の新設を計画している

質問 朝日町においては人口減少と高齢化などにより消防団員の確保も困難になることも想定され、消防力、防災力の低下が懸念されている。

消防団組織の再編について朝日町消防団組織再編検討委員会を開催し、協議、検討してきたが、新たな組織体制について伺いたい。

答弁 消防署長 消防団は、火災出動だけでなく、大規模災害時には昼夜を問わず率先して活動に当たるほか、日々の訓練や火災予防活動など、地域防災の要としてその重要性が再認識されている。

しかしながら、近年の人口減少と少子高齢化などに伴い、朝日町においても消防団員が減少傾向にあり、今後の活動体制が厳しくなる分団も出てくるものと認識して

いる。

このような課題に対して、朝日町では、新たな消防団の組織体制づくりを進めるため、令和4年度に設置した消防団組織再編検討委員会に諮問し、これまで3回の委員会を開催して消防団の組織体制と人員について協議している。

現在の消防団体制は、6つの分団から成り立っており、新たな体制は自治振興会単位で連携した5つの分団に再編成することを考えている。また、女性ならではの視点と活動力を活かして、災害時の後方支援や火災予防啓発などを担う、女性団員による「女性分団」の新設も計画している。

再質問 今までは6分団あったが、実質的に5分団になる。分団が少なくなるから、分団の団員

数は増えると思うが、各分団によって団員の標準化はされるのか。

再答弁 消防署長 6分団での分団の人数の目安は40名以上となっている。予定されている再編後の人数は、1分団40名以上60名程度で考えている。一律何名でなく、分団によって人数が違う予定としている。女性分団については15名程度と考えている。



町の消防団員確保と加入促進策はどのように行っているか

答 活動内容を知ってもらえるよう広く周知している

質問 近年多発化している自然災害の対応強化が課題となる中、

迅速かつ的確な初動体制が重要であり、消防団が町や消防機関と連携を取り、十分な機能を発揮できるかがポイントになる。しかし、町の消防団員充足率は県平均より高いものの、不足の状況にあるが、消防団員の確保と加入促進策について伺いたい。

答弁 消防署長 指摘の通り町においても団員数は年々減少しており、条例定数を満たしていない現状となっている。他の市町村に比べ、高い充足率となっているが、将来的にもサラリーマン団員の増加、町外企業での就業により、平日及び日中の災害発生時の活動や初動体制に影響が出始めている状況となっている。

町では、令和4年4月から、消防団員の報酬額の引上げ等の処遇改善及び定年を迎えた団員に災害時に特化して引き続き活動していただく機能別団員制度を導入している。

そのほか、新入団員の確保と加入促進に向けて、各種イベント時や広報あさひ、ホームページなどで消防団の活動を紹介し、町民に消防団の活動内容を知ってもらえるよう広く周知するとともに、団員の募集についても随時行っている。

しかし、新入団員の確保は困難を極めていることから、組織再編を機に、これまで以上に地元自治振興会、町内会のご協力を賜りながら、地域とのコミュニケーションを活かして消防団員の確保と入団の促進に努める。

代表質問

ふるさと美術館の入館者数と
共通鑑賞券の相乗効果は

答 移転前の実績と比較する
と過去最多の入館者数

質問 7月7日にオープンした
新ふるさと美術館では、特別展と
館蔵品企画展が開催された。オー
プンから8月末現在の入館者数と
まいぶんKANとの共通鑑賞券の
相乗効果について伺いたい。

答 教育委員会事務局長 8
月末現在のふるさと美術館の入館
者数は5,596人となっております、
直近の9月10日現在では7,
005人となっております。

移転前のふるさと美術館の実績
と比較すると、最も入館者数が多
かった年の年間入館者数6,664
人をオープンして2カ月で上回っ
た。また、まいぶんKANにおい
ては、8月4日より特別展が開催
されており、共通利用券を新たに
販売するなど、周辺施設との連携
による入場者数の増加につながっ
たものと考えている。今後さらな
る入館者数増大を目指すため、コ
ンサートなどのイベントや若手芸
術家への貸しギャラリーをはじめ、
テラスや芝生広場を活用したイベ
ントに取り組んでいきたい。

切れ目のない美術鑑賞ができる
年間計画を立てるべきでは

答 切れ目のない美術鑑賞を提供
していきたいと考えている

質問 ふるさと美術館の年間計
画によると、企画展は3月31日ま
での開催となっております。あさひ舟
川「春の四重奏」に観光客が朝日
町を訪れる時期に美術展の開催計
画がなく、作品の撤収、次の美術
展の展示作業が予定されている。

切れ目のない美術鑑賞ができる
よう計画を立てるべきでは。

答 教育委員会事務局長 新
ふるさと美術館では、展示室を3
部屋配置し、これまでの美術館よ
り展示面積が1.5倍以上となっ
ており、企画展の入替え準備期間
においても、これまで十分な形で
行うことができなかつた常設展や
個展など、1年を通して、いつで
も美術鑑賞が楽しめるようになって
いる。

来年の4月上旬には、朝日町で
保有している館蔵品の常設展示を
企画しているところであり、年度
の切り替わり時期においても、切
れ目のない美術鑑賞を提供したい
と考えている。



清水 眞人
(一步会)

実質公債費比率11.2%は シミュレーションと違い があるか

答 町の財政シミュレーションと
ほぼ同様の数値

レーションと比べて違いはあった
のか。

答 財政管理課長 地方公共
団体の財政の健全化に関する法律
に基づく4つの財政指標である実
質赤字比率、連結実質赤字比率、
実質公債費比率、将来負担比率に
ついては、令和4年度決算の結果、
いずれの数値も国が定める基
準を上回るものではなく、財政指
標は健全な値である。

実質公債費比率については、標
準財政規模に対して借入金の償還
額がどれくらいの割合を占めてい
るかを表すものであり、この値が
高いほど財政的には厳しい状況で
あると判断される。

令和4年度決算では11.2%で
前年度から0.9ポイント上昇と
いう結果となり、町の財政シミュ
レーションとほぼ同様の数値と
なった。

質問 今後、下水道関連の大型
起債は、施設普及により大幅に減
少すると見込まれるものの、泊駅
南公園造成工事や南北連絡通路建
設等、多額の資金需要が想定され
る。改めて中長期の財政見通しを
伺いたい。

答 財政管理課長 泊駅南公
園造成工事など追加された場合の
中長期の財政見通しについては、

質問 令和4年度決算に基づく
実質公債費比率は11.2%で、前
年度より0.9ポイント上昇した
結果となった。健全な財政運営を
行うため中長期的な視点に立った
財政シミュレーションを行ってい
ると伺っているが、令和4年度実
質公債費比率は、描いたシミュ



分譲が始まっている泊駅南分譲地

今後財源をどうするかなどといった詳細な検討が必要であるため、あくまで推測の域を出ないが、返済が終了するものがあるほか、償還の据置期間の設定により、財政シミュレーション上の実質公債費率はそれほど上昇しないものの、令和7年度のピークを迎えた後に緩やかに減少するとしていた数値が、しばらく高止まりするという影響があるのではないかと考えている。また、危惧される点かと思うが、地方債の発行に当たり、総務大臣の許可が必要となる実質公債費比率18%は超えないものと見込んでいる。

町としては、財政シミュレーションを通して、実質公債費比率、将来負担比率などの財政指標を常に意識しながら、一般財源の抑制と有利な財源の確保、基金の適正な積立て、取崩しなど、引き続き持続可能で健全な行財政運営に心がけ、将来展望を十分に踏まえた事業の取捨選択や平準化に努めていく。

質問 令和4年度の全国ふるさと納税の総額は前年と比較して116%の増となり、過去最高を記録したが、朝日町の実績は減少傾向が続いている。減少の要因と今後の対策について伺う。

答弁 商工観光課長 朝日町の令和4年度寄附金額は、令和3年度と比較して7.9%の減少であった。令和2年度が最高寄附額であり、以降は減少傾向にある。

減少傾向の理由として、令和2年度に寄附いただいた際に最も要望があったカニが礼品として提供できなくなったこと、自治体間の競争が激化していることが大きな要因として考えられる。

ふるさと納税で大きなシェアを占めているサイトでは、掲載されているお礼品の数は50万件以上となっており、その中から朝日町を選んでいたというものは

大変ありがたいことだと感謝する反面、選ばれることの難しさも痛感している。他の市町村から頭一つ抜きんでたお礼品を捻出することが一番のポイントとなるわけであるが、寄附者の目に留まる効果的な情報発信の重要性も増してきていると感じている。



新たなお礼品の発掘を模索する取組の継続、体験型のお礼品の開発にも鋭意取組んでいきたいと考えている。

取得の具体的詳細設計や条例は今後検討するとしても、休暇制度の有用性について、当局としてどのように判断していくか見解を伺いたい。

答弁 総務政策課長 質問の地域貢献活動休暇の制度は、自治体が条例で定めれば、職員の特別休暇として創設できるようになるものである。これは、地域の担い手不足が各地で深刻化する中において、兼業などによる職員の活動参加をしやすくするという趣旨にのっとったものである。

町においては、現在、各自治振興会に担当職員を2名配置し、地区の会議や行事に積極的に参加するとともに、地域のパイプ役を担っていただいているところである。また、職員おののちについても、公民館職員、消防団員、地区体育協会など様々な団体に参画しているものと認識している。

この休暇制度の有用性については十分理解しているが、その反面で職員に対し過度の負荷がかかるおそれや業務に支障を来すことも懸念され、制度の導入に当たっては、慎重に研究、検討を重ねていく必要があると考えている。

地方公務員地域活動休暇制度の有用性の判断は

答 慎重に研究、検討を重ねる必要があると考えている

質問 朝日町の高齢化率は極めて高く、ボランティアの地域活動

は担い手不足から困難を極めている。持続可能なコミュニティ維持のためには、共助意識の高い職員の参加も必要と考えている。休暇

代表質問

公共施設等の管理計画の 加速化を進める必要性は

答 社会情勢や時期を 見定めて動くべき



寺西 泉 (青雲)



質問 人口減少、少子高齢化が予想以上に加速化している現状では、将来の財政状況は、現在より、より厳しくなることが予想される。今後は、町民のニーズを的確に捉え、大規模改修や長寿命化対策、時には町民の痛みを伴う可能性のある施設の統廃合等に果敢に取り組む必要があると考える。

私は、朝日町を持続可能なままにするために、必要不可欠な大切な施策であるというふうに考えている。ある程度の時間は必要だが、町民との話し合いを進めながら公共施設等の管理計画の加速化を進める必要があると考えるが、町長の考えを伺う。

答 町長 朝日町では公共施設のあり方検討委員会を設置し、各公共施設の老朽度合いやそれに

伴う維持・更新に係る経費、利用状況などの現状・課題を共有するとともに、それぞれの施設の持つ機能を再点検し、将来の在り方について、所管部署にとらわれず、横断的に、そして多角的に検討を重ねているところである。公共施設及びインフラ施設は、耐用年数が過ぎれば大規模な改修や更新が当然必要となってくる。一方で、人口減少と高齢化により財政を支える生産年齢人口が減少し、将来の財政状況はさらに厳しさを増すことから、現在設置されている公共施設を限られた予算内で維持しようとするれば、良質なサービスを提供できないことも予想される。公共施設等の管理計画を加速的に進める必要があるのご意見であるが、社会情勢や時期を見定め

て動くべきものがあることをご理解いただきたい。現在、あり方検討委員会の10月開催に向けて、準備を進めているところである。統廃合、複合化、用途転換、そして長寿命化等の改修などによる施設の最適化を目指し、将来のまちづくりを見据えた総合的な見地から、公共施設の在り方をよりよい方向性を引き続き検討したい。

発言 私は、町の監査委員もしている。先日提出した決算審査意見書に、公共施設の在り方の検討を期待する旨の文言も入れた。人口減少、少子高齢化が予想以上に加速している現状においては避けられない施策と考える。もちろん町民の理解を得るためには時間が必要である。だからこそ早め早めの検討を進めていただきたいという意味で「加速化」という言葉を使ったわけであり、ご理解いただきたい。

朝日町文化体育センター「サンリーナ」の改修について

令和6年度に実施計画、令和7年度以降に改修工事

質問 平成6年に建てられたサンリーナは、全国ビーチボール競技大会等の各種大会や災害時の指定避難所としての役割もあり、朝

日町にとっては大切な施設である。しかし、老朽化が進み、一刻も早い大規模改修が必要不可欠と考えるが、今後の予定を伺う。



朝日町文化体育センター「サンリーナ」

答 町長 教育委員会事務局長 この施設は、町の主要なスポーツイベントである全国ビーチボール競技大会や各種大会、イベントの開催を行っているほか、日頃の中学校の部活動の練習や町民のスポーツ等の活動の場として身近に利用できる施設である。また、災害時における指定避難所のあることから重要な施設であり、耐震・耐久性を高め、より安全・安心に利用していただけるような整備が

必要と考えている。

町の公共施設のあり方検討委員会においても大規模改修の必要性が示されており、今年度中に朝日町文化体育センター大規模改修基本設計を行う予定としているところである。施設改修に係る基本設計の趣旨としては、第1体育館の屋根、外壁、天井を含む全体の大規模改修と第2体育館の各室の配置、整備等の検討を行い、施設全体の機能、質を向上させるとともに、維持管理、利便性、安全性、衛生面、経済性面等がより改善されるよう設計を行う。

富山県東部沖洋上風力発電について

答 県、入善町と連携して取り組む

質問 富山県東部沖が「一定の準備段階に進んでいる区域」から、次の段階の「有望な区域」への整理に向け、熱意をもって取り組んでほしい。

答 みんなで未来！課長 入善町での先行案件である洋上風力発電事業については、一般海域における100%民間出資の国内初の洋上風力発電事業であり、いわば民間主導型である。一方、富山県東部沖での計画は再エネ海域利

用法に基づき国が主導する計画であり、富山県が主体となり、入善町、朝日町の地元漁協をはじめとした、漁業関係者との調整を行っている。

当然、町としても、県に一任することなく、主体的に本事業の実現に向け、町内漁業関係との連携を密に行い、情報共有に努めている。また、これまでの町内の漁業関係者に対する説明や協議の場においては、非常に前向きなご意見を頂戴しており、洋上風力発電事業に関しては、一定のご理解をいただいているものと認識している。

洋上風力発電事業は、政府が脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー利用拡大の切り札と位置づけ、期待されている。町といえども、この富山県東部沖洋上風力発電事業が実現されることにより、一定の地元貢献、経済効果になり得ると想定していることから、今後「促進区域」へと進むために、まずは「有望な区域」への整理に向け、県と2町が連携して取り組んでまいりたいと考えている。



石原 孝之
(グループ22)

新たに緑内障の検診の実施と検査費用の助成はできないか

答 健康増進法に基づかない緑内障検診の実施及び費用負担は考えていない

り、検査費用の助成も併せて検討していただきたい。

答 健康課長 朝日町では、健康増進法に基づき、がん検診や骨粗鬆症検診などの各種検診を実施しており、町民の皆様の健康の保持増進に努めている。緑内障検診については、健康増進法には定められておらず、任意の検診となる。

現在、40歳以上の約20人に1人、60歳以上では10人に1人が緑内障であるとされており、決して珍しい病気ではない。そのため、人間ドックや職場の健康診断などでは、緑内障等の早期発見のため、眼圧や眼底検査が実施されている場合もある。また、個人的に医療機関や眼科クリニックで定期的な目の検診を受けている方もいる。

緑内障になる原因は、眼圧の高さや老化だけでなく、他の病気にかかっているかどうかに加え、遺伝や強度近視、仕事や生活習慣など、実に様々な要因があると言われていてる。

緑内障についての正しい知識の普及と早期発見の重要性を広く啓発し、受診につなげることが重要であると考えている。

このことから、朝日町として

質問 緑内障とは、高い眼圧が持続することにより視神経に異常が起り、放置しておくとも視野が少しづつ狭くなり、最後には失明してしまう病気であり、早期発見と早期治療が最善の方法。このことを踏まえ、緑内障検診の実施の検討と検診を行うに当た

代表質問

は、現段階では健康増進法に基づかない緑内障検診の実施及び費用負担については考えていないが、今後は、議員からのご意見も踏まえ、医療機関の協力の下、「目の愛護デー」などの機会に合わせ啓発を行うなど、市民の皆様が目の健康について関心を持ち、理解を深めていただくための情報発信に努めていきたいと考えている。

児童・生徒への生成AI、チャットGPTの運用と教員の活用は

答 チャットGPTなど生成AIの利用は慎重な対応を基本

質問 文部科学省発表の、初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドラインを踏まえ、児童・生徒への生成AI、チャットGPTの運用をどのように考えているのか、また、教員の活用はどのように考えているのか。

答 教育委員会事務局長 対

話型チャットGPTなど生成AIにおいては、デジタル技術の急速な進展に伴い、求めに応じて人間のように自然な文章をつくることのできるようになってきているところである。

例えば、学校で国語の授業、小説の感想文を書く際に、「作者名」

「作品名」「感想文」などと入力すると、瞬く間に人が書いたような文章が完成する。

このように、生成AIの利用による効率性、利便性といったメリットはあるが、半面で学校教育においては、特に課題も指摘されているところである。文部科学省では今年7月に、小・中学校でのチャットGPTなどの生成AIの取扱いについて暫定的なガイドラインが公表されたところである。

そのガイドラインでは、生成AIは発展途上にあり、利便性がある反面、個人情報流出、著作権侵害のリスク等に加え、思考力や創造性、学習意欲への影響等、様々な懸念も指摘されており、教育現場における活用に当たっては、児童・生徒の発達の段階を十分に考慮する必要があるとされたところである。また、チャットGPTなどの利用に当たっては、18歳未満の利用者等は保護者の同意を必要としていることもあり、特に小学校段階では慎重な対応を取る必要があるとされている。

また、教員の活用については、教材や練習問題、テスト問題での活用等を例示し、業務の効率化や質の向上など、教員の働き方改革の一環として活用する限定的なこ

とが考えられるとしている。

文部科学省では本年度内に学校での取扱い指針が示される予定であり、富山県教育委員会でもチャットGPTなど生成AIの利用は慎重な対応を基本としており、朝日町小・中学校でも現在、同様の対応としているところである。

小中学校体育館にエアコン設置の検討を

答 財政的な観点や費用対効果などを考えると難しい

質問 近年の厳しい暑さの中、

体育館で行う部活動や体育の授業、集会や行事は熱中症のリスクが非常に高く、いつ倒れるかという状況下で児童・生徒は我慢を強いられていると考えられる。また、体育館は災害避難施設として指定されている状況でもあり、災害が発生し、避難により大人数が密集すると、体育館は温度や湿度が上昇し、熱中症のリスクが大幅に増大すると思われる。

全国の小・中学校体育館のエアコン設置率を見ても、令和4年9月の時点では15・3%ととても低い状況となっている。文部科学省は2023年4月19日に、地域の避難場所としての役割を担う体育

館については、空調設置と併せて断熱性も確保するよう要請を行い、ともに国庫補助金の対象となるため自治体での検討を進めるよう促したとある。

体育館での部活動や授業、避難施設としての観点から、体育館にエアコンの設置の検討をしていただきたい。大規模改造（空調・冷暖房設備整備）事業、学校施設環境改善交付金の利便な財源の利用も可能なのではないかと。

答 教育委員会事務局長 児

童・生徒の安心・安全には十分配慮しているが、年々猛暑となる期間が長くなり、平均気温も高くなってきている。そのため、暑さ指数により体育の授業や部活動を行えない期間が長くなると、学校運営上にも影響が出てくる。

しかしながら、体育館のエアコンの設置については大変高額な工事になるため、財政的な観点や費用対効果などを考えると難しい面がある。

今後、町の公共施設の状況を踏まえ、様々な観点から研究していきたいと考えている。

泊駅南区画整理 事業の詳細について



大井 光 男

答 複合遊具やシンボルとして 屋根付き遊具を導入する

質問 7月21日の全員協議会で、公園の基本的な概要を発表され、広報あさひ9月号でも掲載され、市民の関心度が増してきた。

そこで、公園全体の面積や事業費と全体の工事費について伺う。

また、土地区画整理組合から購入する土地の面積と購入単価、土地購入総額について、公園の維持管理にかかる年間経費、施設や遊具の更新時期は何年後を見込んでいるのか併せて伺う。工事費について、市民の意見を聴取する必要があると思うが、どのように考えているのかも併せて伺う。

答 建設課長 公園の全体面積は、1万5,000㎡で芝生広場が5,000㎡、遊具広場が約2,000㎡、自転車練習場を含む駐車場が1,500㎡、園路そ

の他が6,500㎡である。複合遊具、ふわふわドームなどの跳躍系遊具、全ての子どもが遊べるインクルーシブ遊具、公園のシンボルとして屋根付き遊具を児童遊具エリアに導入する。

全体工事費約12億円のうち、各工事費として造成、舗装、植栽の土木工事費に約2億8,000万円、電気、水道などの設備工事費が約1億6,000万円、遊具が約2億円、建築、施設工事費が約3億7,000万円となっている。

組合から購入する面積は9,000㎡とし、宅地並みの整備を要しないため、組合と町で土地購入の協議を開始したところで、今後決定していく。

また、今後のスケジュールとして、今年度中に実施設計を終え、

来年度から工事着手、令和7年度の工事完成を目指している。

年間の維持費については、芝生、高低木の管理、園内清掃として約350万円を見積もっている。電気料、遊具、水量施設の維持管理は詳細な仕様が決定した後、改めて見積もりたいと考えている。更新時期について、トイレなどの建築物は40年、鋼製遊具は30年と使用期間が示されている。

全体事業費に係る市民からの意見聴取の必要性について、今示している公園整備の内容は、約2年間の議論、基本設計におけるワークショップを通じ、市民など多くの方々から広く意見を伺い、反映させ取りまとめたものであると認識している。

全体事業費については、現在進めている実施設計において、コストの削減ができないか、発注時までは、他の自治体の例を参考にコスト削減につながる方法はないか検討していきたい。

町内公共トイレの今後の 在り方は

答 快適な施設整備のため、
補助金等調査して検討

質問 不動堂遺跡内のトイレが

使用禁止となっているが使用開始はいつになるか。また、町全体の公共トイレの状況と今後の在り方について伺う。

答 教育委員会事務局 長 頻

繁に便器が汚れる等衛生面や防犯面はもとより、老朽化による腐食や破損等により維持管理が難しく、使用を控えている。今後は不動堂遺跡のトイレは廃止する予定。

公共施設長寿命化計画を毎年更新しながら、公共トイレも計画的な修繕を行っている。和式トイレの洋式化など快適な施設整備の修繕についても、活用できる補助金等調査しながら検討する。

再質問 「春の四重奏」に約10万人もの観光客が訪れている。観光地で公共トイレがないところは少ないため、トイレを新設していただきたい。

再答 商工観光課長 費用対効果を考えるのが私たちの役目である。通年を通してお越しになっているが、春と他の季節の訪れる人の差が公共トイレを設置するときの費用と掛け合わせたときにどうなるかが判断材料なのかとされている。

一度じっくりと検討させていただく。

「子どもまんなか応援サポーター」宣言で実現したいことは

答 町内の各施設も居場所の一つになればと考える



善田 奈緒



質問 少子高齢化、ライフスタイルの変化等により、地域での子どもたちの居場所は激減。自然と子どもたちが集えるような多様な居場所を意図的につくり出していく必要があるのでは。

答 市民・子ども課長 「子どもまんなか応援サポーター」とは、子どもたちの最善の利益を第一に考え、子どもたちが健やかで幸せに成長できる「子どもまんなか社会」の実現を目指し、自らアクションに取組む団体等のことであり、町もこれに同調し宣言した。自己肯定感や自己有用感を高め、幸せな成長ができるよう、子どもたちの居場所づくりは重要であり、町内にある各施設においても、居場所の一つになればと考えている。

地域格差のない体制づくりが必要では

答 児童館の中にさみさと小学校区の放課後児童クラブ検討

質問 さみさと小学校には放課後児童クラブが設置されており、児童館を利用している。土曜日の開館が9時半と遅く、地域格差が生じている。同じサービスを受けられる体制づくりが必要では。

答 また、行政運営の視点とサードプレイスとしての観点から、町内における早朝延長、土曜預かり等の同一サービスの集約化を検討しては。

答 市民・子ども課長 児童館で実施している時間割や体制

が、放課後児童クラブのような要素が多々あることから、児童館の中にさみさと小学校区の放課後児童クラブ設置も検討している。

延長などの同一サービスの集約化については、集約先への移動の課題が生じることから、現状のままで行いたい。

移動を原因とした教育機会の格差は是正すべきでは

答 将来的な持続性の評価、検証を進め、協議を重ねていく

質問 都市部との教育格差是正のためのみんまなびが地域内での格差を生じさせている。遠方からの参加は何らかの移動手段が必要であり、その解決策として子どもノックルが運行されているが、往復600円の費用負担が必要であり、毎回参加するとなると決して安くない。移動を原因とした教育機会の格差は是正すべきでは。

答 商工観光課長 地域や学校をはじめ様々な人の支えや社会の仕組みが連携、協力しあって初めて学びの機会、経験が可能になる。子どもノックルは、公共交通サービスとしての将来的な持続性の評価、検証を進めながら、協議を重ねていく。

再質問 スクールバスのルートにみんまなび会場を加えるなど、移動のネックが参加への妨げとならないような検討も必要では。

再答 みんなで未来！課長

町のいろいろな移動媒体をどのように活用していけるのか、関係課と協議し、子どもまんなかというところをしっかりと考えた上で、何ができるか検討していきたい。

DXによる効率化の効果が現れるまでの期間の用途は

答 5年を用途に成果が見えるよう推進している

質問 DXによる効率化の効果が職員業務の業務量軽減という形で現れるまで、どれくらいの期間を見込んでいるのか。

答 また、その間はDX推進と既存業務を同時進行することになるかと思うが、どのような体制で両業務を遂行する予定か。

答 総務政策課長 おおむね5年を用途に、ある程度の成果が見えるよう、事業の見直しやDXを推進している。現在は、変革の過渡期であり、職員への負担は多少はあるが、会計年度任用職員を配置するなどの対策を取っていく。

ナノバブル技術を活用した水耕栽培メロン、今後の展開は



吉 江 昌 宏

答 水耕栽培自体の事業としての
成立を目的としている



質問 ポエック建設予定地にメロンの水耕栽培工場が建設されると聞いている。

栽培されたメロンが販売される場合、入手できるのか伺いたい。朝日町にとっても町外への宣伝広告になると思われる。

また、同敷地内の未利用の空き地において、今後の建設や利用計画についても伺いたい。

答 弁 商工観光課長 ナノバブル

技術を活用した水耕栽培事業を進める、今回のポエック株式会社の新規事業は、このナノバブルを活用したメロンの水耕栽培技術の確立を目指すものであり、品質向上や収穫量の安定化を図り、水耕栽培自体を事業として成立させることを目的としていると聞いている。また、ナノバブル技術の幅広

い効果を活用し、東京農業大学や東北大学と、他の作物の栽培や効能を生かした事業の研究も既に始まっており、今後の展開に期待するところである。

地元の農産物市場や小売業者への流通に関して、メインとしては、この一連の栽培方法を確立し、事業として成立するようにパッケージ化し、その技術を企業や事業者販売提供する流れも収益化の柱の一つとしており、こちらも今後の事業の展開を待ちたいと考えている。

再質問 ナノバブルという大変有名な技術を用いてつくったメロンと大々的に前に出していえば、朝日町の宣伝になる、ふるさと納税とか視察研修の返礼品にしてはどうか。

再答弁 商工観光課長 メロン

そのものを売るという商売よりも、そのナノバブルの技術を使ったりつくり方を商品として各会社、事業者、農家に広めたほうが広がりも大きい、会社に入ってくるものも大きい、持続性もある。

再質問 未利用の敷地だが、そちらの今後の利用計画などは。

再答弁 商工観光課長 まだ発表できる段階ではないというふうな伺っている。

土地改良事業の補助金の上限額の引上げを提案する

答 農地の適正な維持管理に向け、検討していきたい

質問 補助金の上限額50万円の引上げを提案させていただきたい。

用水路の修繕は、農業の生産性向上、環境保護、地域の安全性に、農業活動においても不可欠である。近年は資材の高騰により工事費用も高くなっている。

答 弁 農林水産課長 朝日町土地改良事業の町単独土地改良事業

については、1カ所当たりの補助対象事業費を15万円から50万円以内としており、その補助対象経費に対し、農用地区域は36%以内、非農用地区域は50%以内として補

助金を交付している。

また、町単独土地改良事業とは別に、県単独土地改良事業があり、その補助対象事業費の下限額は100万円となっているため、事業費が100万円を超える場合は県単独事業を活用し、100万円未満の場合は町単独事業を活用していただいているところである。

町単独土地改良事業の現行制度では、事業費50万円から100万円までの工事費用が補助対象となっておらず、町としては、農業生産基盤の適切な維持管理は重要なことと考えており、補助対象額の上限額の変更については、今後の農地の適正な維持管理に向け、検討していきたいと考えている。

再質問 消費税が上がってきている。補助金の50万円が変わっていないとなると、消費税の分だけ減額になっている。

再答弁 農林水産課長 担当課

としても重々承知しているつもりである。近隣市町の状況等も見極めながら、しっかりと検討していきたいと思っっている。

北アルプス横断道路 構想の実現に向けて



水野 仁 士

答 国への要望活動や、県・近隣市町村 とともに実現に向け取り組み

質問 令和3年に富山県が策定

した新広域道路交通計画において構想路線として位置づけになった。また、衆議院議員の上田代議士が今年の2月、予算委員会分科会において北アルプス横断構想について、国土交通省の道路局長に質問している。北アルプス横断道は富山県と長野県の取組みは温度差がある国の答弁だと感じている。3本のルートの一本化あるいは長野県の積極的行動の期待等、今後の町の取組みについて伺う。

答弁 商工観光課長 改めてこ

れまでの取組みや経過について申し上げますと、平成4年に新川地域2市3町及び関係者による日本海・関東首都圏連絡道路建設構想推進会議が設立され、その推進会議作成の報告書の中で、新川・大

北、上市、立山の3ルートが示されている。

平成29年に富山県以東の9市町村で北アルプス横断道路構想推進会議を新たに立ち上げ、ルート選定を含めた本道路構想の実現に向け結束して活動していくことが確認されている。

先般7月に開催された構想推進会議の総会で、長野県側選出の国會議員である務台俊介議員による基調講演があり、道路構想の実現は、長野県にも大きなメリットがあることから、前向きな発言も頂戴したところである。

朝日橋の架け替えは

答 県土木部長や道路課長へ
直接要望してきた

質問

大家庄東草野線の小川に架かる橋は、橋の付近も狭く車のすれ違いが困難な状況であり、橋の東側の市街地とも結んでいる重要な橋である。中でも「春の四重奏」で交通渋滞が起きている。橋は昭和36年建設から62年経過しているため、老朽化が著しく、防災、安全から架け替えの時期に来ていると思うが、ぜひ架け替えをして、安全・安心の下で美しい「春の四重奏」をめざることができると期待する。

答弁 建設課長

県道大家庄東草野線の二級河川小川に架かる橋長127.1メートル、総幅員6.2メートル、そのうち車道幅員5.5メートルの朝日橋は、橋の西側には、「春の四重奏」として国内外から多くの観光客が訪れる舟川べりの桜並木や、大浴場、温水プールがある環境ふれあい施設「らくちん」などが近接しており、橋の東側に位置する町の市街地とを結び、観光交流や地域生活になくてはならない重要な橋梁である。

建設から62年が経過し、老朽化が進行しているのではと懸念しており、防災・安全の観点から早期の架け替えが必要であると考えている。

町では、令和元年度から県への重要要望の一つとして、朝日橋の架け替えを要望しており、今年の7月12日も富山県土木部長、道路課長へ直接要望してきたところである。

今後も、朝日橋の架け替えの必要性を県へ粘り強く訴えていきたいと考えている。



朝日橋を通行する大型トラック

災害時の情報伝達と 防災力を高める取組み



由井 崇

答 住民への日頃からの啓発や 訓練を行い、対策を講じたい

質問 豪雨災害、土砂災害の危険が迫っている際の住民への情報伝達方法について伺う。

答弁 総務政策課長 防災行政無線による音声情報や朝日町緊急情報メール、朝日町防災情報アプリによる文字情報、また、消防団による広報活動や避難誘導など、あらゆる手段により、情報発信を行うこととしている。情報通信のデジタル技術も高度化しており、現在町が進めている情報発信を含めたDXが推進されており、若者世帯から高齢世帯まで住民一人一人に正確かつ迅速に情報が行き届くよう努めていきたい。

質問 災害時の高齢者の安否確認、避難誘導をどのように進めるのかについて伺う。

答弁 総務政策課長 町では、自主防災組織による安否確認名簿を使用した避難訓練や地区、自主防災組織と災害対策本部との安否確認報告や消防団と連携した町総合防災訓練など、実践的な取組みを行ってきたところである。

今後も、より迅速な情報の提供など町民の安全を図るため、自主防災組織と協力、連携を重ねながら地域防災力向上のために注力していく。

再質問 高齢者等要支援者の個別避難計画の内容、及び町ではこれをどの程度作成されているのか。

再答弁 健康課長 自ら避難することが困難で支援を必要とする方々には、避難行動要支援者名簿を策定している。個別避難計画

は、なかなか進んでいない。誰が避難の付添をするのかということころが、記載が思うようにされていないこともあり、なかなか計画が進まない要因と分析している。



総合防災訓練の様子

災害廃棄物の処理計画 について

答 広報等の取組が不足している、今後は周知に努めたい

質問 町で災害が起きた場合の災害廃棄物の処理計画について町民への周知はどうなっているか。

答弁 住民・子ども課長 朝日町災害廃棄物処理計画について

は、町民への周知が行き届いていないところがあると認識している。災害廃棄物に関しての広報等についても、取組が不足しているのが現状となっている。

町としては、災害廃棄物処理を適切に行うため、町民の方々に意識してもらい、いざというときに行動していただけるよう、今後、広報を行うなど周知に努めていきたい。

再質問 災害が起きたときの災害廃棄物に関する案内を防災ハンドブック、ゴミの出し方のガイドブックに載せて、平時から町民に周知することはできないか。

再答弁 住民・子ども課長 ハンドブックや、ごみカレンダー、あるいは広報等を通して、住民の方に周知していきたいと考えており、その際は、例えば産業廃棄物を出す場合はどのように出すかとか、あるいはどのように分別するかといったことを周知していきたい。



常任委員長報告

常任委員長報告

総務産業常任委員会

議会から付託されました10案件について、可決・承認すべきものと決しました。

○陳情第3号 インボイス制度の実施中止を求める意見書を政府に送付することを求める陳情につきましては、意見書を変更のうえ提出することとし、意見書の採択を求める陳情は不採択にすべきものと決しました。

民生教育常任委員会

議会から付託されました11案件について、可決すべきものと決しました。

審査の過程において、次の意見・要望がありました。

人口減少、少子高齢化が急速に進む中、町を消滅させないために、若い世代の町への移住に繋がるような施策を推進していただきたい。

本文に掲載した記事以外の質問

◆西岡 良則 議員

- 町民の健康対策について
- 受診率の向上と血液検査について

- 大腸がん検診の便潜血検査と内視鏡検査の検査選択について

- 町の財政運営について

- 実質公債費比率の推移について

◆清水 真人 議員

- 令和4年度決算について
- 金利上昇に伴う公債・起債の影響並びに、基金運用の影響について

- 総合防災訓練について

- 防災訓練実施により明らかになった課題について

- デジタル田園都市国家構想交付金事業について

- 事業の普及促進策について
- 行政サービスの公平性担保について

◆寺西 泉 議員

- 公共施設等の管理計画について
- 朝日町環境ふれあい施設「らくちん」について

- 再生可能エネルギー施策について
- 脱炭素先行地域への計画提案について

- 役場職員のE S（職員満足度）向上と職員募集について

- 行政視察の件数からみる外部評価について

- 職員満足度調査の実施について
- 職員の異動希望調査について
- 職員の働き方改革について

- 役場の職員募集の現状について
- 受験者を増やすための施策について

◆石原 孝之 議員

- 学校運営について
- 熱中症対策について
- ホームページについて

- ホームページの運営管理体制について

- 環境整備について

- 町内観光名所や施設への案内看板の設置状況について

◆大井 光男 議員

- 農業経営について
- 今夏の酷暑による農作物の影響と支援について

- 町民の要望事項について

- 企業誘致と雇用確保について

- こどもまんなか応援サポーター宣言について
- 目指すこどもまんなか社会の姿について

- こどもの居場所としてのふるさと美術館エリアの活用について

◆吉江 昌宏 議員

- 新しい行政スタイルについて
- 職員の働き方と専門分野での採用について
- 視察の受入体制について

- 泊高校解体工事について

- 解体スケジュールについて
- 生活用水について

- 記念碑等の移転について

◆由井 崇 議員

- 災害廃棄物について
- 災害時の支援・受援について

議会報告会を

開催します!!

今年も、全議員が直接町民の皆さまに対し、議会での審議内容をお伝えする場として、議会報告会を開催いたします。

事前の申込は不要です。で、どうぞお気軽にお越しください。

日時 11月11日(土)

午後6時～

場所 役場4階大ホール
テーマ 移住・定住について

内容 ①委員会報告

②意見交換会

問合せ 議会事務局

☎ 83-1100



議会 入門

Q 陳情ってどんな意味？

A 陳情とは、住民が希望や意見を述べることで、陳情書や要望書として議長に提出されます。



議会日誌

7月



10日 朝日宇奈月線改良促進期成同盟会総会

黒部朝日公園線改良促進期成同盟会総会

議会だより編集委員会

21日 全員協議会・議員協議会

25日 朝日・魚津間林道建設促進協議会総会

28日 東部山麓道路建設促進期成同盟会総会

北アルプス横断道路構想推進会議総会

朝日滑川間国道バイパス建設促進期成同盟会総会

31日 魚津・朝日間湾岸道路建設促進期成同盟会総会

下新川海岸整備事業促進議員連盟

8月



2日 議会運営委員会

24日 全員協議会・議員協議会

31日 議会運営委員会

9月



7日 9月議会定例会（～22日）

11日 議会運営委員会

19日 民生教育常任委員会

20日 総務産業常任委員会

22日 議会運営委員会、議員協議会

議長交際費を公開します

項目	R 5.7.1～9.30		R 5年度累計	
	件数	支出金額(円)	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	2	15,000	4	25,000
香典・生花・見舞	0	0	1	5,000
土産・贈答	0	0	0	0
負担金・会費	3	52,000	8	127,000
懇談会	2	23,000	2	23,000
饞別・激励・協賛金	1	5,000	3	15,000
その他	1	32,960	1	32,960
合計	9	127,960	19	227,960

編集後記



今年の夏は、地球規模の温暖化における異常気象が朝日町にも大きな影響をもたらしました。富山の気象の統計開始から85年で猛暑日が67日間という、最も暑い夏として記録され、身体的にも経済的にも大変厳しい夏となりました。

その影響が農作物（米・野菜）への高温障害として、品質の低下や収穫量の減少を招き、農業経営を圧迫しています。今後の温暖化による影響を踏まえた農業生産体制等を考えさせられることになりました。食は私たちの生きるために一番大切なものです。議員として、農業生産体制への支援、協力をしていきたいと考えています。

また、温暖化の影響は自然界でも起きており、県内ではクマによる人身被害、朝日町ではイノシシが出回っています。今後数カ月間は、目撃情報に留意し、注意して周囲へ自分の存在をアピールするなどの対策が必要となります。

◇議会だより編集委員

(大井)

寺西 泉 吉江 昌宏
加藤 好進 由井 崇
大井 光男